

# ようこそ! 「黎明」の新たな100年へ。



明治の詩人・土井晩翠は、明治期にこの大崎市・古川の地を「水絶えぬ郷」(水の絶えないふるさと)と呼び表し、その想いを本校校歌に入れました。そして、晩翠が感じた豊かな自然は、今も私たちを心地よくつつんでくれています。

そこで、はじめに古川黎明高校の「いま」を、4つのトピックスで紹介いたします。

それは古川黎明という「郷」を彩り、豊かさを与えてくれる「水」「光」「風」「地」であると言えます。

## ・学校長からのメッセージ・

仲間とともに  
大きな夢実現へ!!

古川黎明高等学校は、開校から100年を超える伝統校で、平成17年に県内初の併設型中高一貫教育学校として生まれ変わり現在に至っています。卒業生は30,000名を超え、様々な方面で輝かしい活躍をしています。「尚志」「至誠」「精励」を校訓とし、生徒たちは日々の学習はもちろんのこと、部活動や生徒会活動にも生き活きと積極的に取り組んでいます。また、令和元年度よりスーパーサイエンスハイスクール(SSH・2期目)の指定を受け、先進的な理数系教育を行うとともに、文系・理系を問わず、すべてにおいて「探究力と創造力」をつけていく学習を行っています。さらに、卒業後の進路希望に合わせた多様な科目選択が可能であり、論文・面接指導も個人の力に応じてきめ細かく実施しています。ぜひ、黎明高校で充実した3年間を送り、その先にある大きな夢を仲間と一緒に実現しましょう!

学校長 佐藤 浩之

## 水のごとく脈々と 流れゆく時・伝統

○校訓「尚志」「至誠」「精励」のもと、「白梅の精神(苦寒風雪に耐え、春、百花のさきがけとなる)」と「文武両道」を目指しています。それは、時代を経ても変わらぬ、本校生徒のひたむきな姿です。

○地域から愛され、信頼されて100余年の伝統を誇ります。

(R3学校評価・アンケート満足度生徒83%・保護者87%)

○多くの素晴らしい先輩方の教え・支えが、生徒の教育をバックアップします。一昨年度は、卒業生で俳優の高泉淳子さんが講師として来校し、プレゼンテーション力向上の授業をして下さいました。

○「おはようございます」の声が毎日校舎のあちこちで飛び交い、心地よい空間にしてくれています。これも本校生徒の時代を経ても変わらぬ姿です。

☆右QRコードからHPに入ると校歌を聞くことができます。



第1回卒業生らによる卒業記念和歌



## 水が荒野を潤すように



生徒会長 川原田 希  
(古川黎明中出身)

わが国に、学校教育の礎(いかり)が下ろされてから150年。宮城県における女子教育の草分け的存在であった本校も、今では先進教育を推進する県北の教育中核校となりました。水が荒野を潤すように、この黎明を、大崎を、日本を潤す学人を求めます。

## 「黎明」の明日を照らす「知」の光

- 「黎明」を愛する60名超の経験・個性豊かな先生方により、「探究」をテーマとした授業で思考力・論理性を伸ばします。
- 1年生は、「SS探究I」の中で「ペーパー・ドロップ」(2階から紙を落として、下にある的にできるだけゆっくりとねらった場所に落下させることを競う)コンテストを行いました。そして、研究成果の発表で情報収集力・プレゼン力をアップさせています。
- 校内の中高の教員間で情報交換し、中学校での学習内容や方法を踏まえ、高校の授業づくりに生かしています。
- 文科省からSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の指定を受け、先進的な理数系教育により、創造性と探究力を備えた生徒を育てます。
- 一人一人の希望進路に寄り添いながら、丁寧な進路相談会はもちろん、課外授業や土曜塾、難関大説明会、模試分析会、大学見学会などを熱く展開しています。



ペーパードロップ



学び グループワーク



黎明祭・クラスパフォーマンス

## 「黎明」から世界へ 変革・清新の風

- SSHの指定も2期目を迎え、ICT教育の先進的な取り組みを推進し、またそれを可能にする施設設備を備えています。今年度から、全員がiPadを使える環境を整備し、ロイノート活用授業を進めています。
- コロナ禍においても、他のSSH校とオンラインによる研究発表会を開催したり、新入生への部活動紹介も、各部がつくった動画を見せて行ったりしました。
- 理系希望者による「アドバンスコース」を設置し、発展的な理数系教科科目を学習したり、大学や研究機関とも連携したりしながら、より探究力を備えたイノベーションリーダーの養成を目指します。
- 毎年2月の「黎明サイエンスフェスティバル」では、課題研究の成果を発表しています。
- 自然科学部がJAXAと共同研究を締結し、「はやぶさ2」の観測に臨みました。
- タイ王国の高校などとの異文化交流を通して、国際性と多角的な視点を持った生徒を育てます。



サイエンスフェスティバル



SSH 他校での研究発表



サイエンス研修  
(東京・ヒトゲノム解析センター)



タイ研修・提携校との交流

## 大崎という地に たたずむ学び舎

- 県内の多くの中学校(黎明中も含め約30校)から入学してきた多様な個性と豊かな可能性を持つ生徒約700名が集まっています。
- 本校がある「大崎耕土」は世界農業遺産に認定されていますが、「SS探究I」では、大崎学講演会やフィールドワーク、大崎耕土課題研究に取り組んでいます。(SDGs=持続可能な開発目標等を題材とした各種講演会も実施。)
- 大崎学校教育ICT活用推進コンソーシアム協定を調印し、ICT教育の研究成果を広く地域の小中学校と共有しています。大崎における人材育成の拠点を目指しています。(自然科学部・パソコン部などが近隣小学校で出張講習会を開催)
- 大崎の小中学校より参加者を募集し、秋に「おおさき小中学生自由研究チャレンジ」を開催しています。子ども達の自由で豊かな研究発表や交流会により、参加者・参観者から好評を得ています。
- 先端的なデザインで感性と創造力を育てる校舎と、豊富で多彩な教室数(普通教室19、特別教室17、体育館3、グラウンド・コート5、大講義室、視聴覚室、蔵書数3万冊の図書室、全国の豊富な大学入試問題集を備えた自習室等)の環境のもと、生徒は明るく意欲的に学校生活を送っています。



SS探究: 蕪栗沼調査



SS探究: 鳴子ダム見学



大崎 ICT 活用推進  
コンソーシアム調印式



おおさき小中学生  
自由研究チャレンジ



明けない夜はない、進もう新たな黎明へ!!  
~R1生徒会キヤッチャレーズ~ (中学2年A組 大友絵理さん)